

大内まちづくり 協議会だより



vol.10

2015年10月

発行：大内まちづくり協議会

〒753-0221 山口市大内矢田北一丁目10番11号（大内地域交流センター内）TEL：050-1265-7063 FAX：083-927-0473



世界のスカウトと 大内の方たちが交流！

あいさつ

大内まちづくり協議会 会長 清水 春治



大内にお住まいの皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

大内まちづくり協議会では、本年6月10日に定期総会を開催し、5部会の活動費及び事務局運営費として、総額1,979万円の予算をご承認いただき、順調に運営しております。

昨年から、次期5ヶ年計画の策定を開始し、その中でこれまでの事業や次期計画に盛り込むべきことなどについてのアンケート調査を行いました。この分析結果を次期計画に反映させるため、地区の方々に参画していただきワークショップを開催しています。皆様のご意見を参考に本年度末までには、新たな5ヶ年計画を策定することとしています。

大内は人口2万3千人で、市内でも最大規模の地区として、今なお発展しています。このような状況のなか、地域の安心安全対策と少子高齢化対策として、南部地域に避難場所を兼ねた子どもと老人の居場所の建設を、市に要望しています。子どもを健全に育成することは、地域の将来を託す重要なことと思っています。

大内まちづくり協議会は、地域の皆様と協働で住みよい大内を目指して、まちづくりに取り組んでまいります。引き続きご協力とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

おわりに、皆様のご多幸とご健勝をお祈りしまして、あいさつとさせていただきます。

平成26年度 大内まちづくり協議会収支決算書

1. 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
地域づくり交付金	16,536,000	16,536,000	0	特別加算交付金を含む (500,000)
連合自治会 助成金	1,500,000	1,400,000	△100,000	事務局員給与
雑 収 入	1,000,000	913,651	△86,349	印刷代等
前 年 度 繰 越 金	754,853	754,853	0	
合 計	19,790,853	19,604,504	△186,349	

2. 支出の部

(単位：円)

分野	事業名	予算額	決算額	比較増減	項目	備考	
協議会運営	事務局人件費	4,140,000	3,908,867	△231,133	事務局長、事務員2名		
	事務費	1,077,000	957,518	△119,482			
		5,217,000	4,866,385	△350,615			
地域振興 (地域振興)	地域振興事業	4,402,000	1,582,179	282,179	大内地区広報誌等印刷事業	1,300,000	
			9,120	△50,880	大内まちづくり体制強化事業	60,000	
			840,000	△60,000	次期まちづくり計画策定事業	900,000	
			477,357	117,357	大内まちづくり事業等の情報共有事業	360,000	
			1,075,404	325,404	第36回大内まつり	750,000	大内まつり実行委員会
			1,149,762	599,762	大内地区体育祭	550,000	体育協会
			89,088	△10,912	夏のフェスティバル	100,000	子ども会
			87,896	△5,104	広報誌（青少協だより）発行	93,000	青少協
			143,222	△41,778	標語看板の作成	185,000	青少協
			108,000	4,000	標語ポスター・カレンダーの作成	104,000	青少協
		4,402,000	5,562,028	1,160,028	4,402,000		
	地域個性創出 (文化教養)	文化教養事業	2,111,000	78,111	△71,889	地域自慢コンテスト	150,000
0				△250,000	大内の史跡風景カレンダー作成事業	250,000	
100,000				0	大内地区史跡整備事業	100,000	
16,232				△3,768	大内地区史跡案内板作成委員会	20,000	
854,280				354,280	明治維新歴史資源活用事業	500,000	
21,000				△29,000	大内歴史探訪会	50,000	
2,876				△37,124	大内歩いて見よう会	40,000	文化探訪会、子ども会、青少協
58,494				△1,506	三世代交流事業	60,000	子ども会
0				△10,000	スポーツ交流事業	10,000	
151,092				92	食農体験活動	151,000	JFA青壮年選
103,334				△16,666	第21回大内地区じんげん学習まちづくり大会	120,000	人推協
100,000				0	大内中学校教育講座	100,000	
95,287				△4,713	中学校ボランティアのスタッフベストの作成	100,000	
150,000				50,000	大内小・南小環境整備	100,000	
421,200				61,200	地域協育ネット活動の助成事業	360,000	
				2,111,000	2,151,906	40,906	2,111,000
地域福祉 (健康福祉)	健康福祉事業	228,000	68,506	△16,494	大内地区老人大学講座	85,000	老人クラブ
			97,330	△12,670	活力のある大内のコミュニティづくり	110,000	
			27,828	△5,172	高齢者健康増進事業	33,000	老人クラブ
			228,000	193,664		228,000	
環境づくり (生活環境)	生活環境部会	904,000	3,984,000	△484,000	法定外公共物等工事	3,984,000	
			495,859	△104,141	河川環境美化活動助成金交付	600,000	
			51,364	1,364	里山登山道整備事業	50,000	金成山を愛する会
			110,359	△143,641	休耕田の活用	254,000	
			4,888,000	4,157,582	△730,418	4,888,000	
安心・安全 (安心・安全)	安心・安全部会	1,190,000	30,000	△70,000	自主防災組織の設立	100,000	
			544,514	134,514	災害対策の充実	410,000	
			135,285	△14,715	巡回パトロール	150,000	青少協（青少協・農青連）
			381,200	151,200	児童の登下校時のみまもり活動	230,000	大内っ子まもり隊
			325,000	25,000	反射鏡設置補助事業	300,000	
			1,190,000	1,415,999	225,999	1,190,000	
予備費		1,754,853					
前年度繰越金		754,853					
次年度繰越金			754,853				
地域づくり交付金返戻			502,087		法定外484,000 ソフト事業18,087		
合 計		19,790,853	19,604,504	△186,349			

平成27年度 大内まちづくり協議会収支予算書

1. 収入の部

(単位：円)

項 目	H27予算額	H26予算額	比較増減	備 考
地 域 づ く り 交 付 金	16,536,000	16,536,000	0	特別加算交付金を含む (500,000)
連 合 自 治 会 助 成 金	1,500,000	1,500,000	0	事務局員給与等
雑 収 入	1,000,000	1,000,000	0	印刷代等
前 年 度 繰 越 金	754,853	754,853	0	
合 計	19,790,853	19,790,853	0	

2. 支出の部

(単位：円)

分野	事 業 名	H27予算額	H26予算額	比較増減	備 考
協議会運営	事 務 局 人 件 費	4,140,000	4,140,000	0	事務局人件費 4,140,000
	事 務 費	1,077,000	1,077,000	0	事務費 1,077,000
		5,217,000	5,217,000	0	
地域振興 (地域振興)	地 域 振 興 事 業	3,657,000	1,300,000	200,000	大内地区広報誌等印刷事業 1,500,000
			60,000	△40,000	大内まちづくり体制強化事業 20,000
			900,000	△770,000	次期まちづくり計画策定事業 130,000
			360,000	15,000	大内まちづくり事業等の情報共有事業 375,000
			750,000	0	第37回大内まつり 750,000
			550,000	△150,000	大内地区体育祭 400,000
			100,000	0	夏のフェスティバル 100,000
			93,000	0	広報誌 (青少協より) 発行 93,000
			185,000	0	標語看板の作成 185,000
			104,000	0	標語ポスター・カレンダーの作成 104,000
		3,657,000	4,402,000	△745,000	
地域個性創出 (文化教養)	文 化 教 養 事 業	2,001,000	150,000	0	地域自慢コンテスト 150,000
			250,000	0	大内の史跡風景カレンダー作成事業 250,000
			100,000	△100,000	大内地区史跡整備事業 0
			20,000	△20,000	大内史跡案内板作成委員会 0
			500,000	20,000	歴史文化遺産等の案内看板の設置 520,000
			50,000	△20,000	大内史跡探訪会 30,000
			40,000	0	大内歩いて見よう会 40,000
			60,000	0	三世代交流事業 60,000
			0	250,000	文化活動団体紹介冊子の作成 250,000
			10,000	20,000	スポーツ交流事業 30,000
			151,000	0	食農体験活動 151,000
			120,000	0	第22回大内地区じんげん学習まちづくり大会 120,000
			100,000	0	教育講演会補助事業 100,000
			100,000	△100,000	中学校ボランティアのスタッフベストの作成 0
			100,000	50,000	学校整備事業 150,000
			360,000	△210,000	地域協育ネット活動支援事業 150,000
		2,001,000	2,111,000	△110,000	
地域福祉 (健康福祉)	地 域 福 祉 事 業	232,000	85,000	0	大内地区老人大学講座 85,000
					ぶらり大内まち歩き 18,000
				6,000	中高年の健康づくりと体操 21,000
					ママとシニアの交流会 30,000
			33,000	△2,000	みんなで語ろう会 47,000
		232,000	228,000	4,000	高齢者健康増進事業 31,000
環境づくり (生活環境)	法 定 外 公 共 物 等 工 事	4,100,000	3,984,000	116,000	4,100,000
	環 境 づ く り 事 業	1,940,000	0	1,000,000	交通安全環境施設の整備 1,000,000
			600,000	0	河川環境美化活動助成金交付 600,000
			50,000	50,000	里山登山道整備事業 100,000
			254,000	△14,000	休耕田の有効活用 240,000
		6,040,000	4,888,000	1,152,000	
安心・安全 (安心安全)	安 心 安 全 づ く り 事 業	1,820,000	100,000	0	自主防災組織の設立 100,000
			410,000	270,000	防災資器材の整備 680,000
			0	470,000	防災マップの作成 470,000
			150,000	0	巡回パトロール 150,000
			230,000	△110,000	児童生徒の登下校時のみまもり活動 120,000
			300,000	0	反射鏡設置補助事業 300,000
		1,820,000	1,190,000	630,000	
予 備 費		823,853	1,754,853	△931,000	
合 計		19,790,853	19,790,853	0	

平成27年度事業計画

■会議

○総会

6月10日(通常)

- ・平成26年度事業報告、決算
- ・平成27年度事業計画、予算
- 各種会議
- ・理事会、正副会長会議、総務運営委員会、専門部会

(必要に応じ開催します)

■部会の活動状況

★地域振興



部会長 長沼 清人
今年度の部会で取り組む事業について、説明させていただきます。

まちづくり体制を強化し調整するための活動を、推進するように努めてまいります。

昨年度に引き続き、大内連合自治会からの要請を受け、自治(町内)会長を対象に、自治会の課題解決の糸口を見つけるためのワークショップを行います。

この研修効果により、地域の活性化につなげていきたいと願っています。

★文化教養



部会長 阿部正二郎
文化教養部会では、今年度、ふるさと大内の魅力に触れる13の事業を計画しています。

一昨年から継続して取り組んでいる「大内史跡案内板」は、今年度、大内の南の玄関口である管内方面に設置予定です。また、昨年度行った写真コンテストの写真を活用した来年度のカレンダーづくりや、文化活動団体の紹介冊子を5年ぶりに更新する予定です。

今後、大内を牽引する子供たちを含め、地域を愛する大内地区住民全員を対象にした事業を展開していきたいと考えています。

★健康福祉



部会長 中川 忍子
いつまでも元気で生き生きと暮らす秘訣は心と体の健康です。

健康福祉部会は「子どもが元気、大人が元気、まちが元気」をテーマに、日常生活で気軽に出来る体づくりを、皆さんと一緒に始めることにしています。

9月17日(木)には、足・膝・腰・肩のやさしいケア方法を、ハッピーウオーキング講師の馬田義子さんに、実技を中心に教えていただきました。

10月1日(木)には、山口県立大学特任講師の青木邦男先生に、足腰を鍛える基本

的な考え方を実技を交えて学びました。

学んだ歩き方の基本を実践するため10月17日(土)「ぶらり大内まち歩き」で宮島神社やポンプ場を散策します。

子どもシニアの交流では、「おやこ3カ」を11月13日(金)と27日(金)に、インストラクター井谷美穂さんとスタジオF代表江藤やす世さんの指導で予定しています。

恒例の「みんなで語ろう」は、2月6日(土)を予定しています。

よりよい大内のまちづくりと健康をめざして、皆さんのお出かけをお待ちしています。

★生活環境



部会長 江藤 恒充
このたび、生活環境部会の部会長を引受けることになりました江藤です。

今年度部会で取り組みます事業について、説明させていただきます。

24年度からの継続事業の遊休農地等の有効活用につきましては、昨年より開設しております「ひまわり迷路」をはじめ、今後、「菜の花の植え付け」を行います。さらに、自然景観の改善を促し、防災機能を高めて農地の保全を図っていくこととしております。

本年は、従来からの「法定外公共物等工事(水路や道路等の改修)」に加え「交通安全環境施設整備」として、通学路等の危険箇所への安全防止施策を行う事と

しております。

また、大内地区に暮らす皆様方が、快適に生活できますように「河川美化活動」や「里山登山道整備事業」等、引き続き微力ながら活動を展開していきますので、ご協力をお願い致します。

★安心安全



部会長 高木 信明
このたび、安心安全部会の部会長を引受ける事になりました高木です。

今年度部会で取り組みます事業について、説明させていただきます。

近年、増々温暖化が進み風水害等が多く発生すると予想されますことから、大内地域交流センター敷地内に防災資機材を保管する物置を設置しました。今後は計画的に防災資機材を整備し、必要とする自治会(町内)に貸出しが出来るようにしたいと思っています。

また、5年前に大内地区全戸に防災マップを配布しましたが、今年度は防災屋外スピーカー設置場所等の新たな情報を反映させたマップを作成し、配布するように準備を進めています。

大内地区の皆様が安心して暮らせるよう部会で話し合いながら計画を進めて行きますので、ご協力をよろしくお願い致します。

大内まちづくり計画の策定作業を進めています

大内まちづくり計画を多くの声を反映したものとするために、ワークショップを開催しています。

第1回のワークショップは6月7日(日)に開催しました。

一般公募も含め44名の皆さんに参加していただきました。

「大内地区住民は地域課題をどのように認識しているか」と題して、山口県立大学の坂本俊彦教授にお話しをしていただきました。

その後、グループに分かれ、質問ごとにグループを変えながら協議をしてもらいました。



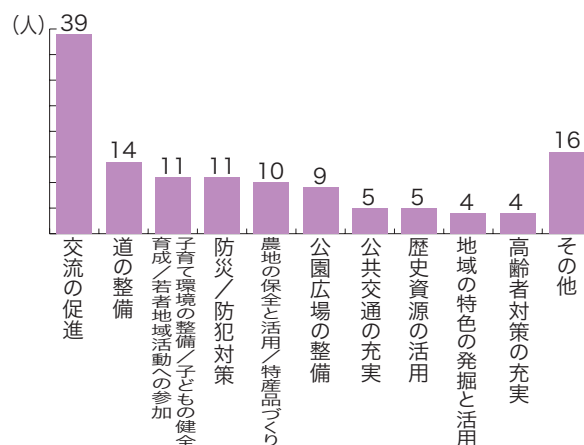
※第1回の質問

Q. 基調講演を聞いて大内地区とはどんな地区だと思いましたか？それはなぜですか？

Q. 大内地区が将来にわたって魅力的な地域であるためには何が必要だと思いますか？

Q. 大内地区が魅力的な地域であるために、私たちができることは何でしょうか？

「大内地区が魅力的な地域であるために必要なもの」として概ね右グラフのような意見が出されました。



第2回のワークショップは6月28日(日)に開催しました。

一般公募も含め43名の皆さんに参加していただきました。

アンケート調査（平成26年度実施）や第1回目のワークショップの内容を踏まえて具体的にテーマ設定をし、それについてグループごとに協議をしました。

※第2回の質問

テーマ1 大内地区の魅力を考える

Q. 好きなところ

Q. 改善したら良くなること

Q. 貢献できること

テーマ2 隣近所関係づくりを考える

Q. 付き合いがありがたいとき

Q. 困ること

Q. 私たちができること

テーマ3 地域で子どもを見守り、育てる

Q. 育つ環境でいいところ

Q. 気になるところ

Q. 地域で協力してできること

それまで2回のワークショップの内容を踏まえて次の方向性を導き出しました。これにもとづいてさらに掘り下げするためのワークショップ（第3回目）を予定しています。

1 大内地区の魅力を再発見し、活用する。

大内のすばらしい資源を再発見、活用して「大内らしい」地域づくりを進めよう。そして、子ども達をはじめ大内に住む人や活動する人にとっての地域への誇りや愛着心を育てよう。

- ・ 大内氏をはじめとする歴史資源の発掘・活用・伝承
- ・ 河川環境の整備と活用



2 隣近所の顔の見える関係をつくる。

大内のすばらしい資源を再発見、活用して「大内らしい」地域づくりを進めよう。そして、子ども達をはじめ大内に住む人や活動する人にとっての地域への誇りや愛着心を育てよう。

- ・ 大内氏をはじめとする歴史資源の発掘・活用・伝承
- ・ 河川環境の整備と活用

3 地域ぐるみで子どもを見守り、育てる。

子どもやその家族が精神的に孤立することがなく、元気に成長していけるよう、子どもの育ちや安全を地域全体で支えていける環境づくりを進めよう。

- ・ 子どもの多世代交流と体験づくりの推進
- ・ 子どもの安全を守る取り組みの推進
- ・ 子どもを育てる体制づくり

第3回目のワークショップの内容や意見の詳細は改めて皆さんにお知らせします。

大内まちづくり計画策定のための アンケート調査から見たこと

大内地区で自慢に思うものは何ですか？

「特にない」が最も多く21.5%、「商店・飲食店」が15.2%、「医療・介護施設」が7.5%、「地域のお祭り・イベント」が7.2%となっていました。（以下「スポーツ施設」6.6%、「身近にある農地」5.5%、「歴史的資源」5.2%など。）

年代別にみると次の通りです。

10～20歳代	「特にない」51.7%、「身近にある農地」「地域のお祭り・イベント」「商店・飲食店」いずれも10.3%
30～40歳代	「特にない」34.1%、「商店・飲食店」24.4%、「地域のお祭り・イベント」11%
50歳代～65歳	「特にない」43.8%、「商店・飲食店」18.0%、「スポーツ施設」13.5%
65歳～74歳	「特にない」32.4%、「商店・飲食店」14.1%、「医療・介護施設」11.3%
74歳以上	「特にない」36.7%、「医療・介護施設」16.7%、「歴史的資源」「地域のお祭り・イベント」それぞれ11.7%

居住歴でみると次の通りです。

生まれてからずっと大内に住んでいる人と生まれはよそで現在大内に住んでいる人は「特にない」との回答が最も多かった（それぞれ45.2%と39.9%）のに対し、生まれは大内でUターンしてきた人は「身近にある農地」（33.3%）が、生まれはよそで大内に住むのも一時的な人は「商店・飲食店」（30.0%）とする回答が最も多くなっていました。

小学5年生と中学2年生に同じ質問をしたところ、「自然資源」が最も多く22.7%、「特にない」が21.3%、「地域のお祭り・イベント」が17.0%となっていました。

調査の概要 2014年7月から8月に実施
大内地区在住の18歳以上男女への郵送調査
配布数1,000、有効回収数362、回収率36.2%

編集後記

今年も、生活環境部会と大内の生徒ボランティアの皆さんが、ひまわりの種をまき「ひまわり迷路」を作りました。

8月24日は、大内保育園児が迷路の中を元気いっぱい駆け回って遊びんでくれました。これから、子供たちに良い遊びの場ができたところとみなして話したものです。

ところが、25日に台風15号という大型で非常に元気のいいお客様がお見えになって、ひまわりと情熱的かつ猛烈なダンスを踊って行かれました。

26日の朝、疲れ切って？眠っているひまわりを見た皆さんは、がっくりと頭を垂れたのは言うまでもありません。しかし、こんなことにめげる人たちはありません。きつと、来年も素晴らしいひまわりの花を咲かせてくれることでしょう。

がんばれ！ がんばれ！ 大内っ子のために



「おおうち歴史の散歩道」を 歩いてみませんか

（宮島町）

象頭山駐車場前と大内中学校前の2カ所に、案内板が設置されています。日頃、自転車や車で見慣れた景色も、歩いて見ると結構新発見があるものです。案内板を参考に、ご家族や友達と一緒に散策してみてください。

また大内まちづくり協議会（大内地域交流センター内）に「大内史跡マップ」がありますので、必要な方はお越しください。

宮島町象頭山→
駐車場前



←大内中学校前